

令和4年度越谷市登録要約筆記者認定試験 筆記試験問題

I. 次の文章は、越谷市の状況について説明しています。()に当てはまるものを□から選んで番号を書きなさい。

越谷市では、市民との協働による福祉のまちづくりを進めるため、令和3年度から5年間の(1)を策定しました。この(1)では、越谷市の目指す地域福祉の基本理念「すべての(2)が生涯にわたり、すこやかに、いきいきと、人間らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちを実現する」を目指します。近年、貧困や虐待、家庭内暴力、ひきこもり、さらには高齢の親と無職の子どもの同居世帯、いわゆる(3)問題や、(4)の時期を同時に迎える世帯、いわゆるダブルケアなど複雑化、多様化した課題を抱え、多方面から包括的な支援を必要とする人が増えています。これらの諸課題に対応するためには、行政による福祉サービスの充実だけでなく、地域住民や地域の多様な主体が(5)として課題を捉え、住民相互のつながりや助け合いにより早期解決・支援を行い、困難を抱えた場合には、関係機関や行政が分野に関わらず解決に向けて「丸ごと」受け止め支援するなど、社会全体で支援を行うことが不可欠です。

- | | | | |
|----------------|----------|-----------------|---------|
| ① 市民 | ② 介護と子育て | ③ 8050 | ④ 8020 |
| ⑤ 「共助」 | ⑥ 障がい者 | ⑦ 第6期越谷市障がい福祉計画 | |
| ⑧ 第3次越谷市地域福祉計画 | | ⑨ 就職と転居 | ⑩ 「我が事」 |

II. 下の分は、中途失調・難聴者に関する事柄について説明したものです。()にあてはまる語を書きなさい。

聴覚障がい者のなかでも、(1)者は、まったく聞こえない人から補聴器を使用することでなんとか周囲とコミュニケーションをとることができる人まで、障害の程度には大きな開きがあります。

(2)者は、なんらかの原因で突然聴力を失った人のことを指します。聴覚障害は外見で判断できず、また自分で発語ができる(1)者は多いため、周囲から適切な援助を受けにくい傾向にあります。

(1)者、(2)者が利用できる福祉サービスは、(3)に規定されており、「自立支援給付」と「(4)事業」に大きく分かれています。要約筆記者の派遣事業は(4)事業の(5)事業として実施されています。

Ⅲ. 下の文が正しければ○、間違っているものには×を書きなさい。

1. 話しことばは書きことばに比べ、文章として見ると不完全であるという特徴があります。その特徴ゆえに、書き言葉に比べ、指示語を多用した話し方になりやすいのが話し言葉です。
2. 身体障害者手帳を交付された者は、障がい福祉サービスの利用や、各種援護や税制上の特別措置、鉄道運賃の割引等の制度利用が可能となります。
3. 障害者差別解消法では、合理的配慮の提供が掲げられています。行政や事業者が、障害者から社会参加するための障壁を取り除く、何らかの対応を求められた際には、いかなる理由があろうとも必ずその障壁を取り除かなくてはなりません。
4. 日本語の単語は、その意味や文法的な性質の違いによって、いくつかの種類に分けることができます。このような、単語の種類のことを、品詞と呼び、名詞、動詞、形容詞などがあります。
5. 2011年に障害者基本法は、国民の意識や価値観の変化に合わせて、防災対策なども付加され、改正されました。また改正時、ICIDH・国際障害分類の観点がこの法律に反映されました。

Ⅳ. 次の各文の _____ 部分を漢字に直しなさい。

1. 議会でイギを申し立てる。
2. 彼が主演のコウエンを鑑賞した。
3. 条約がハッコウされる。
4. 心臓は体の主なキカンである。
5. あの二人はタイショウ的だ。

Ⅴ. 次のことわざ・熟語の意味を から選んで番号を書きなさい。

1. 濡れ手で粟
2. 一日の長
3. 画竜点睛
4. 玉石混淆
5. 捲土重来

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ① 事情が分からない中、手探りで行動すること | ② 苦勞が多いわりに効果が少なく報われないこと |
| ③ じっと機会を待って何もしないこと | ④ 優れたものと、劣ったものが混じっていること |
| ⑤ 知識、経験、技能などが少し優れていること | ⑥ 細かい違いはあるが、本質的には同じこと |
| ⑦ 一度敗れた者が、再び勢いを取り戻して巻き返すこと | ⑧ 全力を尽くして事にあたること |
| ⑨ 物事の最も肝要なところのたとえ | ⑩ ほとんど苦勞もせずに大儲けすること |

VI 下記の事例を読んで、問題点とそれに対してあなたが登録要約筆記者として派遣されたらどのように対応するか、それぞれ簡潔に書きなさい。

- ・要約筆記者派遣の申請者は、難聴者Aさん、75歳です。
- ・場面は、旅行代理店で、旅行プランに関する問合せです。
- ・Aさんは、再来月に予定されている親戚の結婚式に出席するため、宿と往復の航路のプランについての見積もりをお願いしました。窓口での相談は予約優先でしたが、Aさんはこの日予約をせずに訪問をしたとのことでした。窓口担当者は、いくつかのパンフレットを机に並べ、順に説明をしていきました。担当者は次の来客を気にしていたのか、宿の料金、食事、周辺の観光施設についてなど説明が早く、Aさんはパンフレットと要約筆記の内容を見比べていましたが、内容に追いついていない様子でした。この日、Aさんは家に帰って再度検討したいと、パンフレットを持ち帰ることにしました。店舗の入り口でAさんから、「会場に近い宿と安い宿どちらが良いか」と尋ねられたため、先ほどの担当者からもお勧めされていたことや、Aさんが高齢なことも考慮し、「会場に近い宿が良いのではないか」と助言しました。Aさんは、迷っていたことについて相談ができ、安心したのか、すっきりした顔で帰って行きました。

令和4年度 登録要約筆記者認定試験
筆記試験解答

点 (合 · 否)

	1	2	3	4	5	点数
I	⑧	①	③	②	⑩	2 点 × 5
II	難聴	中途失聴	障害者 総合支援法	地域生活支援	意思疎通支援	2 点 × 5
III	○	○	×	○	×	2 点 × 5
IV	異議	公演	発効	器官	対照	1 点 × 5
V	⑩	⑤	⑨	④	⑦	1 点 × 5
VI	〈問題点〉 要約筆記者が、自分の判断で A さんに助言をしている点					5 点
	〈対 応〉 A さんが主体となって相談ができるよう支援するのが要約筆記者の役割であり、 A さんの疑問に要約筆記者自身の判断で答えるべきではない。A さんが窓口の担 当者に直接質問ができるよう促し、要約筆記者はその情報保障に徹する。					5 点